第70期報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

ムーンバット株式会社

証券コード：8115

株主の皆様へ

代表取締役
社長執行役員

中　野　誠　一

平素は格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申しあげます。
また、このたびの東日本大震災により被災された皆様に謹んでお見舞い申しあげますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申しあげます。
さて、ここに当社グループ第70期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、その概況につきましてご報告申しあげます。

当連結会計年度における日本経済は、企業収益の改善等、景気回復の兆しが見られ一部持ち直しの動きがありましたが、円高や雇用情勢の厳しさによる先行き不透明感もあり、足踏み状態となりました。また、本年3月に発生いたしました東日本大震災により、甚大な被害と経済的な打撃を受けたことで、急速に景気が落ち込みました。当社グループの主要販売先である百貨店及びチェーンストアの売上高も引続き伸び悩んでおります。
このような環境下、当連結会計年度における当社グループの売上高は、猛暑の影響により、パラソルの販売が好調でありましたこと、及びマーケットで注目の毛皮素材を使用している洋品毛皮の販売も大変好調でありましたことを主因として、前年比3.3％増の137億81百万円となりました。
損益面では粗利益率が横這いでありましたこと、及び増収要因により粗利益額は前年に比べ増加いたしましたが、返品調整引当金の増減による粗利益への影響額が当連結会計年度におきましては前年における同影響額に比べ、58百万円の下押し要因となりましたことから、同引当金勘案後の粗利益率では前年比0.6ポイント下落いたしました。百貨店の店頭販売にかかる費用や物流関係費用の圧縮等、販売費及び一般管理費を大幅に削減いたしましたことから、営業利益は10億88百万円（前年比41.6％増）、経常利益は10億96百万円（前年比48.9％増）となりました。貸倒引当金戻入額22百万円を特別利益に計上いたしましたこと、及び賃貸不動産の減損損失2億13百万円、投資有価証券評価損7百万円を特別損失に計上いたしましたこと等により、当期純利益は4億30百万円（前年比1.4％減）となりました。
本年度につきましては、震災とそれに起因する電力不足、原発問題等が企業の経済活動や消費者の消費行動に影響を及ぼすものと考えられます。従いまして、特に関東圏での消費マインドの落ち込みをある程度見込まざるを得ない状況となっております。
高額品から低価格帯に至るまで、かつ、商品の付加価値に見合った妥当な価格での提供が求められている一方、原材料や人件費の高騰等、海外での生産コストの上昇が一段と厳しさを増しております。
かかる環境下、当社グループは、お客様のニーズに即した質の高いものづくりを一段と推進し、魅力ある商品を提供することで販売シェアの拡大に努め、さらに徹底した経営の効率化により、安定的な収益を維持できる企業基盤の構築に取り組む所存でございます。
株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申しあげます。

営業の概況

＜部門別業績＞

（洋 傘 部 門）

当連結会計年度の売上高は、53億34百万円、前年比2.4％の増収となりました。

パラソル市場では、猛暑の影響でパラソルの販売が大きく伸びました。洋傘・レイングッズ市場では年度前半は降雨量も多くマーケットは堅調でしたが、年度後半は降雨量も少なく、バーゲンセールが活発化し販売価格の下落も見られるなど、低調に推移いたしました。当社グループにおきましては、パラソルの販売が大きく貢献し、洋傘部門全体として売上高が前年を上回り、主要百貨店におけるマーケットシェアも拡大いたしました。2011年シーズンのパラソルにつきましては、カーテン業界での遮光基準である「1級遮光（99.99％以上、光を遮断）」をクリアーしていることに加え、赤外線の反射を強化させる加工を施すことにより遮熱効果もある生地を使用したパラソルを投入しております。当社未加工品と比べ傘内側の温度上昇を抑える効果が期待されるパラソルです。お客様のニーズにお応えする商品の投入を進め、さらなる商品開発提案の充実を図ってまいります。

（洋 品 部 門）

当連結会計年度の売上高は、33億59百万円、前年比1.6％の増収となりました。

洋品市場では、春夏物マーケットは春先の寒さの影響で堅調に推移し、秋冬物マーケットは立ち上がり時期である8月・9月に残暑の影響もあり厳しいスタートとなりましたが、12月中旬以降の寒波により盛り返しました。また、新アイテムとして、スヌードがマーケットで注目されました。当社グループにおきましても、売上高が前年を上回り、主要百貨店におけるマーケットシェアも拡大いたしました。

（帽 子 部 門）

当連結会計年度の売上高は、28億47百万円、前年比2.0％の増収となりました。

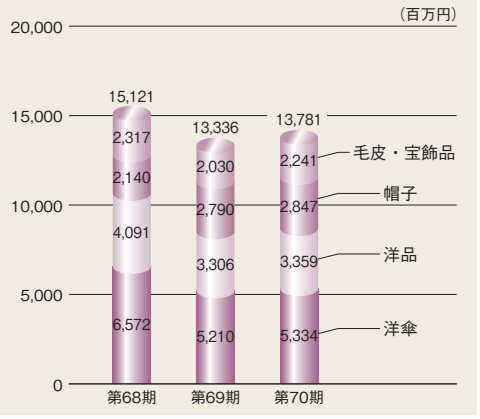
帽子市場では、春夏物マーケットは猛暑により市場も活性化し、天然素材を使用した商品が人気を集めました。秋冬物マーケットは特に話題となる商品等がなく立ち上がり時期は苦戦いたしましたが、12月中旬以降は寒波のためニット等の防寒アイテムが好調に推移し、年間では、ほぼ前年並みのマーケットとなりました。当社グループにおきましても、人気ブランド「ヘレン・カミンスキー」が引続き堅調に推移し、帽子部門全体を牽引いたしました。売上高は前年を上回り、主要百貨店におけるマーケットシェアも拡大いたしました。2011年シーズンにつきましては、ウォッシャブルかつ遮光効果のある生地を使用した帽子の品揃えを強化する等、機能性を高めた商品を拡充しております。

（毛皮・宝飾品部門）

当連結会計年度の売上高は、22億41百万円、前年比10.4％の増収となりました。

毛皮・宝飾品市場では、毛皮アイテムが引続きマーケットで注目されておりますが、高額品への需要は厳しい状態が続いております。当社グループにおきましては、毛皮素材を使用した首周りアイテム等の洋品毛皮が大変好調に推移し、売上高は前年を大きく上回りました。また、毛皮・宝飾品ともに「ミラ・ショーン」ブランドを積極的に展開することで、他社との差別化を図っております。「ミラ・ショーン／ブルーレーベル」も立ち上げて企画ターゲットの年齢層を拡大いたしました。

事業区分別売上高の推移



当社グループの財産及び損益の状況の推移

区　　分	第67期（平成20年３月期）	第68期（平成21年３月期）	第69期（平成22年３月期）	第70期（当連結会計年度）（平成23年３月期）
売　上　高（百万円）	13,828	15,121	13,336	13,781
経常利益（百万円）	472	1,168	736	1,096
当期純利益（百万円）	115	519	436	430
純　資　産（百万円）	5,204	5,681	5,998	6,311
総　資　産（百万円）	14,608	12,479	11,778	11,129
1株当たり当期純利益(円)	4.32	19.51	16.40	16.18
1株当たり純資産額(円)	195.45	213.46	225.45	237.25

財務諸表の概要（連結）

●連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	当期（平成23年3月31日現在）	前期（平成22年3月31日現在）
資産の部		
流動資産	**6,474**	**6,817**
現金及び預金	870	896
受取手形及び売掛金	2,613	2,693
たな卸資産	2,708	2,938
その他	325	355
貸倒引当金	△ 44	△ 66
固定資産	**4,646**	**4,945**
有形固定資産	**2,898**	**2,937**
土地	2,312	2,323
その他	585	614
無形固定資産	**172**	**146**
のれん	44	76
その他	128	70
投資その他の資産	**1,575**	**1,861**
敷金及び保証金	1,056	1,085
投資不動産	208	425
その他	398	439
貸倒引当金	△ 88	△ 88
繰延資産	**8**	**14**
社債発行費	8	14
資産合計	**11,129**	**11,778**

科目	当期（平成23年3月31日現在）	前期（平成22年3月31日現在）
負債の部		
流動負債	**3,129**	**3,185**
支払手形及び買掛金	1,487	1,503
短期借入金	621	925
社債（1年以内償還予定）	—	200
未払法人税等	376	—
賞与引当金	90	87
返品調整引当金	125	106
その他	428	361
固定負債	**1,688**	**2,594**
社債	700	700
長期借入金	369	1,336
退職給付引当金	317	308
その他	301	249
負債合計	**4,817**	**5,780**
純資産の部		
株主資本	**6,334**	**6,010**
資本金	3,339	3,339
資本剰余金	1,039	1,039
利益剰余金	1,968	1,644
自己株式	△ 13	△ 13
その他の包括利益累計額	**△ 22**	**△ 12**
その他有価証券評価差額金	△ 1	0
繰延ヘッジ損益	4	2
為替換算調整勘定	△ 25	△ 14
純資産合計	**6,311**	**5,998**
負債及び純資産合計	**11,129**	**11,778**

●連結損益及び包括利益計算書（要旨）（単位：百万円）

科　目	当期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）	前期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）
売上高	13,781	13,336
売上原価	7,906	7,567
売上総利益	5,875	5,769
販売費及び一般管理費	4,787	5,000
営業利益	1,088	768
営業外収益	77	105
営業外費用	69	137
経常利益	1,096	736
特別利益	22	15
特別損失	222	—
税金等調整前当期純利益	895	751
法人税、住民税及び事業税	494	237
法人税等調整額	△ 28	78
当期純利益	430	436
包括利益	419	—

●連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）（単位：百万円）

科　目	当期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）	前期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,548	△ 141
投資活動によるキャッシュ・フロー	26	△ 152
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,598	98
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2	0
現金及び現金同等物の減少額	△ 25	△ 195
現金及び現金同等物の期首残高	896	1,091
現金及び現金同等物の期末残高	870	896

●連結株主資本等変動計算書（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）

（単位：百万円）

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
平成22年3月31日　残高	3,339	1,039	1,644	△ 13	6,010	0	2	△ 14	△ 12	5,998
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 106		△ 106					△ 106
当期純利益			430		430					430
自己株式の取得				0	0					0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						△ 1	1	△ 11	△ 10	△ 10
連結会計年度中の変動額合計	—	—	323	0	323	△ 1	1	△ 11	△ 10	312
平成23年3月31日　残高	3,339	1,039	1,968	△ 13	6,334	△ 1	4	△ 25	△ 22	6,311

（注）財務諸表の概要（連結）における記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表の概要（単体）

●貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科　目	当期（平成23年３月31日現在）	前期（平成22年３月31日現在）
資産の部		
流動資産	6,208	6,713
固定資産	4,916	5,119
繰延資産	8	14
資　産　合　計	11,134	11,847
負債の部		
流動負債	3,071	3,183
固定負債	1,685	2,592
負　債　合　計	4,757	5,775
純資産の部		
株主資本	6,374	6,070
資　本　金	3,339	3,339
資本剰余金	1,039	1,039
利益剰余金	2,009	1,703
自己株式	△ 13	△ 13
評価・換算差額等	2	1
その他有価証券評価差額金	△ 1	0
繰延ヘッジ損益	3	1
純資産合計	6,377	6,071
負債及び純資産合計	11,134	11,847

●損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科　目	当期（平成22年４月１日から平成23年３月31日まで）	前期（平成21年４月１日から平成22年３月31日まで）
売上高	13,296	13,085
売上原価	7,666	7,465
売上総利益	5,630	5,619
販売費及び一般管理費	4,610	4,895
営業利益	1,019	724
営業外収益	119	150
営業外費用	70	132
経常利益	1,068	742
特別利益	23	15
特別損失	222	—
税引前当期純利益	868	757
法人税、住民税及び事業税	482	229
法人税等調整額	△ 25	75
当期純利益	411	452

（注）財務諸表の概要（単体）における記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

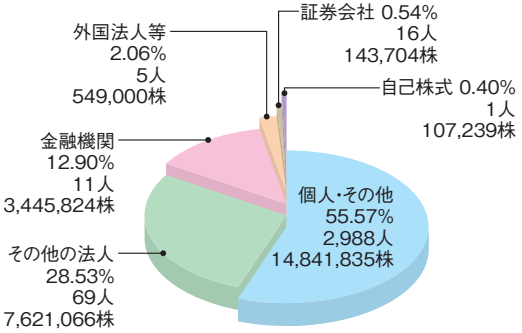
株式の状況（平成23年３月31日現在）

1. 発行可能株式総数　60,000,000株
2. 発行済株式の総数　26,601,429株
（自己株式107,239株を除く）
3. 株主数　3,090名
4. 大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
株式会社ニード	4,390	16.50
ムーンバット持株共栄会	1,552	5.83
株式会社三井住友銀行	1,210	4.55
河野正行	1,050	3.94
日本生命保険相互会社	1,000	3.75
岡本緑	729	2.74
株式会社京都銀行	522	1.96
フシアインベストメント リミテッド	520	1.95
八木良三	400	1.50
京セラ株式会社	399	1.50

（注）持株比率は自己株式（107,239株）を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



会社の概要（平成23年３月31日現在）

社名　ムーンバット株式会社
英文社名　MOONBAT CO., LTD.
本店　京都市下京区室町通四条南入鶏鉾町493番地
東京本部　東京都千代田区九段北4-1-3
飛栄九段北ビル4階
支店　東京・名古屋・大阪・福岡・札幌（営業所）
創業　明治18年３月（西暦1885年）
設立　昭和16年９月（西暦1941年）
資本金　33億39百万円
事業年度　毎年４月１日から翌年３月31日まで
従業員　254名（連結）・231名（単体）
事業内容　洋傘・洋品・毛皮・レザー・宝飾品・帽子などのアクセントファッション商品の企画、輸入、製造、仕入、販売等を主な事業内容としております。
ホームページアドレス　http://www.moonbat.co.jp
重要な子会社の状況

会社名	資本金	主要な事業内容
日本洋傘センター株式会社	60,000千円	洋傘の製造、加工、販売
ルナ株式会社	60,000千円	毛皮・宝飾商品の企画販売
A.F.C. ASIA LIMITED	1,000千香港$	貿易業

取締役、監査役及び執行役員（平成23年６月29日現在）

代表取締役・会長執行役員	大島幸雄	
代表取締役・社長執行役員	中野誠一	
取締役・専務執行役員	中村卓司	社長補佐（兼）事業本部統括
取締役・常務執行役員	有吉計則	営業統括
取締役・常務執行役員	今村京一	管理本部長（兼） リスク管理・コンプライアンス担当
取締役・執行役員	杉岡善秀	東京支店長
取締役・執行役員	武内敏和	事業本部長 A.F.C. ASIA LIMITED 代表取締役
常勤監査役	田中治	
常勤監査役（社外）	隈本友三	
監査役（社外）	南部孝男	弁護士
監査役（社外）	郷田紀明	公認会計士
執行役員	西邑友尋	大阪支店長

株主メモ

＊事業年度	毎年４月１日から翌年３月31日まで
＊定時株主総会	毎年６月開催
＊基準日	定時株主総会　毎年３月31日 期末配当金　毎年３月31日 中間配当金　毎年９月30日（中間配当をする場合） その他必要な場合はあらかじめ公告いたします。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

・証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

・証券会社に口座を開設されていない株主様は、株主名簿管理人である住友信託銀行株式会社に口座（特別口座）を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、下記の電話照会先にご連絡ください。

＊株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目５番33号 住友信託銀行株式会社
＊株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目５番33号
事務取扱場所	住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）	東京都府中市日鋼町１番10（〒183-8701） 住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	0120-176-417
（インターネットホームページURL）	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
＊公告方法	電子公告とし、当社ホームページ（http://www.moonbat.co.jp）に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
＊上場証券取引所	大阪証券取引所市場第二部

《ご　案　内》配当金を配当金領収証でお受け取りの株主様へ

より早く、安全、確実に配当金をお受け取りいただくために、銀行預金口座への振込によるお受け取りをお勧めいたします。手続きについてのお問い合わせ先は次のとおりです。

・証券会社に口座を開設されている株主様は、お取引の証券会社へお問い合わせをお願いいたします。

・証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の住友信託銀行株式会社へお問い合わせをお願いいたします。

MOONBAT

本社　〒600-8491　京都市下京区室町通四条南入鶏鉾町493番地
TEL（075）361-0381（代表）　FAX（075）371-0171
http://www.moonbat.co.jp